コラム COLUMN

差別のない明るいまちに

どんな『ガチャ』を“引いても”豊かに生きられる社会のために！

問 人権センター（大路二、キラリエ草津内）
☎563-1177、FAX563-7070

カプセル玩具の販売機『カプセルトイ』をご存じでしょうか？昨年「子どもは親を選べない。親によって、教育機会、学習意欲、さらに就業機会まで影響を受ける」といった意味が込められた『親ガチャ』という言葉が話題になり、昨年末の新語・流行語大賞にも選ばれました。

「甘えるな！」「努力が足りない！」…？

「わたしは『親ガチャ』に失敗している。もっと裕福な家庭に生まれたかった。」このような使われ方にSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）上では、「あきらめにも似た若者の人生観を表している」「『親ガチャに外れた』という表現で、深刻なことをソフトな印象に変え、聞く側も反応しやすくなる」。このような意見がある一方で「甘えるな」「努力が足りない」といった自己責任を問う意見や「親の気持ちも考えるべき」といった意見も多く見られます。

けれども、過去に公表された内閣府の「子どもの貧困」に関連する調査研究報告書では、高校生の進学先や就職などの進路決定にあたり、学力だけでなく、その家庭の世帯所得が少なからず影響していることが記されています。本人の努力だけではどうにもならないところから、社会の格差が生まれていることは否定できません。

さまざまな家庭背景のある子どもたち

子どもたちには一人一人違った家庭背景があります。中にはやむを得ない事情により、児童養護施設で暮らす子どももいます。そこで育った子どもたちは、親のことをどのように思っているのでしょう。一例ですが、ある施設で育ったAさんは、テレビのインタビューにこう答えています。

> 「親が子どもを育てることができないのなら、自分は生まれない方が良かった…。けんかしたときにも『親のない子は…』ってなる。見られ方が変わってくるんですよ。」

「子どもは親を選べない。これは職員でもよく話題に上ります。以前、別の職員が子どもたちに語りかけていた光景が忘れられません。」ある児童養護施設の職員は話を続けました。

> 「お前ら、親を選べないもんな。幸せな家に生まれてくるのも、家の中がぐちゃぐちゃで崩壊寸前の家に生まれてくるのも偶然なんだよな。でも、もしお前らの胸にぽっかり空いた穴があるとしたら、この施設の職員は、その穴を埋めるために精一杯努力する！」

『親ガチャ』から発生した状況はさまざまです。けれどもこの職員のように、それを子どもの自己責任と捉えず、支えようとする大人の生き方があります。

「親に捨てられたと思っていたのに…」

Aさんは児童養護施設を出た後のことをこのように続けました。

> 「20歳の頃、つき合っていた女性の親に『せめて高校くらい行けば良かったのに』と言われ、胸をえぐられるくらいショックでした。23歳で通信制の高校に入ることにしました。そのとき、自分の戸籍を用意することになり、母親の存在を知りました。会いたいと思うようになり、見たことのない親を探し始めました。2、3年かけて、ようやく母親の兄弟にたどり着くことができました。でも母は亡くなっていたのです。探している2、3年の間に亡くなったようです。17歳で自分を出産し、手放さなければならなかった事情も知りました。母親に捨てられたという思いがあったはずなのに、涙が止まりませんでした。
> 『親を選べない』っていうけれど、周りだって俺を選べないじゃないですか。それでも施設の人や仕事で知り合った人は俺を支えてくれたんです。だから今があると思ってます。」

『親ガチャ』に”外れた“と考えている人を、『自己責任』と捉えていないか、改めて考えたいものです。努力したくても、それができる基盤のない家庭背景の子どもや親がいることにも注意を向けられるわたしでありたいと思います。さらに、地域社会が『温かく見守り支える』ことも大切です。場合によっては福祉サービスとつなぐこともできます。

どんな『ガチャ』を”引いても“幸福感を持って豊かに生きられる。そのような社会を実現するために、わたしたち一人一人も考え支えたいものです。

ニュースサイト「NHK NEWS WEB」より引用

はしかわ市長のだいすき！くさつ

食で子ども達の成長を支えます

暦の上では春を迎えましたが、寒い日が続いております。皆様には体調の管理に、ご注意いただければと思います。

先月5日に、草津市第二学校給食センターの開所式を執り行い、3学期から市内の公立中学校でも給食の提供を開始しました。生徒からは、温かい給食がうれしいとの声とともに、これまで弁当を作ってくださった親への感謝の声を聞いています。

中学校給食は、平成27年度に保護者の声や社会情勢の変化などを踏まえ、給食を実施する方針を決定、平成28年度に草津市中学校給食実施基本計画を策定し、進めてまいりました。献立には、ベジクサといわれる、近畿最大級の施設野菜産地である草津市産の野菜や米の他、滋賀県産の農作物を使用し、食文化や季節感を大切にしながら、和食献立や減塩献立など栄養バランスの取れた給食を提供し、子ども達の健全な成長を支えてまいります。

現在は感染症対策として、生徒達は給食を黙食していますが、早く楽しい学校生活が戻ることを願っています。

新型コロナウイルス感染症については、急激に感染が拡大し、不安な状況が続いています。市民の皆様には、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出は慎重にしていただき、手洗いや手指の消毒、マスクの着用、換気の徹底、密閉・密集・密接の回避など、基本的な感染症対策を、家庭や職場で今一度徹底してください。また、感染症対策については、ワクチン接種後も、継続をお願いします。

ワクチン接種については、国からの供給量や政府方針に応じて取り組んでまいります。追加接種の接種券が届いた方や未接種の方は、発症予防、重症化予防などの観点から、ワクチンの種類にかかわらず前向きな接種の検討をお願いします。

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

1 貧困をなくそう

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、速やかに生活・暮らしの支援が受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、1世帯当たり10万円を給付します。手続き方法など、詳しくは決まり次第、市ホームページなどで順次お知らせします。

対 ①昨年12月10日時点で、草津市に住民登録があり、世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯（住民税が課税されている人の扶養親族等のみからなる世帯を除く）
②新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯

問 臨時特別給付金推進室（1階）
☎561-0189、FAX567-9101

子育て世帯応援給付事業（児童扶養手当受給世帯または住民税非課税世帯）市独自

1 貧困をなくそう

国制度の給付金を受給した人を対象に、市独自の給付金を支給します（生活保護受給者を除く）。令和3年4月1日以降に草津市に転入した人で、給付金を草津市外で受給した人は、申請が必要です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

支給額 対象児童1人につき5万円

対 「子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親または住民税非課税世帯）」を受給した人（生活保護受給者を除く）

申 2月28日(月)まで〔必着〕

申・問 子ども家庭課（さわやか保健センター2階）
☎561-0188、FAX561-6780

低所得の子育て世帯に対する給付金（子育て世帯生活支援特別給付金）の申請は2月28日(月)まで

国制度

1 貧困をなくそう

詳しくは、市ホームページをご覧ください。

対 平成15年（障害がある児童は平成13年）4月2日から令和4年2月28日までに生まれた児童を養育する人
①低所得（児童扶養手当受給者水準の所得）のひとり親世帯
②住民税（均等割）非課税の世帯
※ともに新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変して、それぞれの所得水準を下回る見込みの人を含む

申 2月28日(月)まで〔必着〕

申・問 子ども家庭課（さわやか保健センター2階）
☎561-0188、FAX561-6780

ひとり親世帯　ひとり親世帯以外

日時・期間　場所　対象　定員　費用（記載がない場合無料）　その他
申込み・応募方法　市役所への郵送は、〒525-8588 草津市役所〔課名など〕